

公開研究会

「公共施設マネジメントが示す施設再編のビジョンと実践の課題」

地方自治体では、総務省の要請により公共施設等総合管理計画の策定に取り組んでいる。平成28年度にはほぼ全ての地方自治体で計画策定が完了し、今後、公共施設マネジメントは実践へと移行することとなる。この計画の内容は、自治体によって様々なレベルがあるが、将来にわたり公共施設の更新やサービスの提供が可能となるマネジメントの方策が検討されている。

公共施設マネジメントの多くが、保有総量やライフサイクルコストの削減といった施設全体をスリム化するための目標を定め、公共施設の現状と課題を老朽度や利用度といった建築性能、維持管理費を含むコストの側面から把握し、保有施設の更新・統廃合についての方針を定めている。今後、施設の長期的な更新・統廃合を実践するには、どのように施設を評価し更新・再編の根拠とするか、再編後の施設をどのように再配置するか、長寿命化や複合化のために既存施設をどのように改修するかといった種々の課題を解決しなければならない。そのためには、都市計画部門や建設部門等との庁内連携に加え、公共と民間、市民との協働が不可欠であり、新しい時代の都市・地域・まちの姿が共有されなければならない。

今回の公開研究会では、公共施設等総合管理計画の策定状況を踏まえ、持続可能な公共施設整備の新しいビジョンはどのようなものか、また、従来型ではない新たな公共施設の整備手法について議論したい。

主催：建築計画委員会 設計計画運営委員会 公共施設マネジメント小委員会
建築社会システム委員会 建築ストックマネジメント小委員会

日時：2017年7月26日（水）15：00～17：30

会場：建築会館会議室（港区芝 5-26-20）

<プログラム（予定）>

主旨説明：池添昌幸（公共施設マネジメント小委員会主査／福岡大学）

主題解説

1. 「（仮）都市の高齢化と人口減少から考える施設再編計画の課題」 西野辰哉（金沢大学）
2. 「今後の公共FMの展開」 堤 洋樹（前橋工科大学）
3. 「市民の施設利用からみたまちづくりのための公共施設再編」 恒川和久（名古屋大学）

ディスカッション

コメンテーター：円満 隆平（建築ストックマネジメント小委員会主査／金沢工業大学）

まとめ：椿 幹夫（山下設計）

参加費：会員 1,000 円、会員外 1,500 円、学生 500 円（資料代含む／当日会場払い）

定員：50 名（申込み先着順）

申込方法：Web 申し込み <http://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=600124> よりお申し込みください。

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 榎本

TEL：03-3456-2051 E-mail：enomoto@aij.or.jp